



3学期も終わりに近づきました。あと2週間で、1年生は中心学年の2年生に、2年生は最終学年の3年生になります。気持ちを引き締めて、それぞれの進路に向けての努力を重ねてほしいと思います。

今回は、3月9日の時点での73回生の国公立大学の一般選抜前期までと、一部の私立大学の選抜結果についてお知らせします。これらの合格を勝ち取るために先輩達は必死の努力を重ねてきました。ただ三木高校に入学しただけで、3年間をぼんやりと過ごしては、希望する大学に受かることは困難です。頑張り続けた先輩の姿勢を見習って、その後に続いて下さい。

なお、国公立大学中・後期及び私立大学3月入試を合わせた最終結果は4月にホームページにアップします。

【73回生入試結果(3月9日判明分)】

☆国公立大学

国立大学	合格者	公立大学	合格者
山梨大学	1	富山県立大学	1
静岡大学	1	兵庫県立大学	5
大阪大学	1	神戸市看護大学	1
兵庫教育大学	3	神戸市外国語大学	1
岡山大学	1	県立広島大学	1
鳥取大学	2	高知県立大学	2
島根大学	2	高知工科大学	1
愛媛大学	1	宮崎公立大学	1
合計	12	名桜大学	1
		合計	14



国公立大学合格者合計
26

☆私立大学(一部) …合格者数は延べ数

大学	合格者	大学	合格者	大学	合格者
早稲田大学	1	京都産業大学	15	神戸女学院大学	2
立命館大学	5	龍谷大学	10	武庫川女子大学	6
関西大学	7	近畿大学	11	兵庫医療大学	5
関西学院大学	19	甲南大学	28		

※お詫びと訂正※

⑰号の【73回生国公立総合型選抜・学校推薦型選抜結果速報】の静岡大学工学部は共通テスト「無」としていましたが、「有」の誤りでした。



【なぜ学ぶのか】

皆さんは、今、何のために勉強していますか。大学に合格するため？自分の夢を叶えるため？答えは人それぞれ違うと思いますが、今、初心にかえて学ぶことの意義について考えてみませんか。実は、学ぶこと、教育を受けることによって得た力は、自分の人生だけでなく社会や世界を変える大きな力になってゆくものなのです。

「教育とは決して盗まれることのない財産である」

教育とは、何か。人に教える立場になって、自問自答することが多くなりました。そんな私の疑問が氷解するような素敵な言葉を聞いたのは、フィリピン・マニラのスラム街でのことでした。

・・・(フィリピンのスラム街で、1人の若者が教科書をリヤカーに積み、貧しさのために学校に行けない子どもたちに、出前授業を始めました。スラム街にはギャングがはびこり、教育を受けることができない子どもたちはギャングの予備軍になってしまうから、それを防ぎ生計の道を拓くためです。今ではいくつものグループが、ボランティアでこの授業に携わっています。この取り組みのおかげで、今、先生をしている青年に池上氏がインタビューします。)・・・

いまでは学校の先生になったという若者に話を聞きました。

池上「教育ってなんですか、と人から問われたら、何と答えますか？」

若者「教育は、お金や物と違って人から決して盗まれない自分の財産だと思います。」

次の世代に渡す財産が現金だったら、盗まれてしまうかもしれません。でも、身についた教育なら、盗まれることはありません。治安の悪いところに住んでいる人ならではの発想だと思いましたが、これぞ教育の真価なのでしょう。教育という財産を次の世代に残していく。こうして国は豊かになっていきます。40年前の日本も、こうして豊かになったのです。

……池上彰『いま、君たちに一番伝えたいこと』より



人生の大きな意義…大学で学ぶ機会を得た者がなすべきこと



誰かがほかの誰よりも上ということではなく、基本的に男も女も同じ権利を持っています。青い血はないように、公爵、伯爵のような特別な存在はありません。このような基本的な考え方を定着させるために、これまでどれだけ多くの犠牲が払われたことでしょうか。もちろん、全ての人にとってそれぞれの出発点は違います。なぜなら、民主主義というものはまだ完全ではないからです。この社会には人間の誤りというもの、その限界というものがたくさんあります。しかし、それは無限の戦いなのです。私たちの社会を常に改善するために、常によりよいものへと変革していくために。私たちは私たちの社会をよくするために戦わなければなりません。それこそが人生の、

生きることの大きな目的なのです。そして、それこそが私たちの存在に意義を与えるものでしょう。それは大きな責任でもあります。特に、このような素晴らしい大学で勉学する者、このような素晴らしいチャンスを得た者にとって。このようなチャンスがあるのなら、一層その責務も大きくなるでしょう。それは、社会に手を差し伸べ、このようなチャンスを得ることができなかった人のために役立つという大きな責務です。

……ホセムヒカ(「世界で一番貧しい大統領」として有名な元ウルグアイ大統領) 東京外国語大学での講演より

教育が世界を変える…学ぶことは最大の武器

私たちは全ての子どもたちの明るい未来のために、学校と教育を求めます。私たちは、「平和」と「全ての人に教育を」という目的地に到達するための旅を続けます。誰にも私たちを止めることはできません。私たちは、自分たちの権利のために声を上げ、私たちの声を通じて変化をもたらします。自分たちの言葉の力を、強さを信じましょう。私たちの言葉は世界を変えられるのです。

私たちは今もなお何百万人もの人たちが貧困、不当な扱い、そして無学に苦しめられていることを忘れてはいけません。何百万人もの子どもたちが学校に行っていないことを忘れてはいけません。少女たち、少年たちが明るい、平和な未来を待ち望んでいることを忘れてはいけません。

無学、貧困、そしてテロリズムと闘いましょう。本を手に取り、ペンを握りましょう。それが私たちにとってもっとも強力な武器なのです。

1人の子ども、1人の教師、1冊の本、そして1本のペン、それで世界を変えられます。教育こそがただ一つの解決策です。Education First. (教育を第一に)。

……マララ・ユスフザイ(2014年ノーベル平和賞受賞) 国連での演説より

